

# さくら湖管理ニュース

No.17  
10月  
2002年  
発行  
国土交通省 東北地方整備局  
三春ダム管理所

## 東北地方整備局から浜口局長と長沢副局長が相次いで来所

9月6日(金)には浜口局長、そして9月10日(火)には長沢副局長が見えられに挨拶を交わしました。

### 「強く美しい東北」

～組織力生かし地域と共に～

7月16日付けで東北地方整備局長を拝命いたしました浜口です。

皆様、三春ダムの管理という事で毎日大変ご苦勞様です。この間の台風6号では、全量カットなど様々な皆さんの工夫で、下流の洪水も軽減したという事を聞いております。またダムの管理としましては、水質面など色々な課題があることかと思いますが、ダム建設当時から管理に至る今日まで様々な工夫を凝らし、幸い大きな問題が発生せず安全に水の供給も行うことが出来ているという事で安心をしています。またこれからも、三春ダムの効果が充分発揮出来ますよう応援していきたいと思っております。

前任の竹内局長時代に、「強く美しい東北」という大きなテーマを掲げて頂きました。これからはそのテーマを具体化していく時期だと思っております。その中で2点ほど皆様をお願いしたいこ



とがあります。1つは、省庁再編によって出来た東北地方整備局の組織としての総合力を生かすということです。2つめは、地域との対話です。

いずれも従来から行っていることではございますが、基本中の基本ということを改めて認識し、従来以上に行っていきたいと思っております。

そして皆さんと共に地域のために頑張っていきたいと思っておりますので、皆さんよろしく御願ひ致します。

## 流域で力を合わせ、21世紀型の美しく働きやすい国土を目指して



7月16日付けで東北地方整備局に参りました長沢と申します。東北に勤務するのは初めてですが約2ヶ月が経ち、色々な事務所を訪ねて東北は広いなとあらためて感じました。

東北地方整備局では「強く美しい東北」ということをスローガンに掲げて事業を進めておりますが、そのためにはその基盤となる「安全性」が重要かと思えます。ちょうど私がこちらに訪れる少し前には台風6号が来ました。各地で記録的な大雨が記録され被害がありました。福島県においても被害があったこととは思いますが、最小限の被害であった事は三春ダムの洪水対策の成果ともいえるのではないのでしょうか。

東京の様な都市に比べ、東北地方は都市的な面と自然が適度に調和する「21世紀型の美しく働きやすい国土」といえるのではないかと思います。また三春ダムは、水質面に課題があると聞いております。それは私達だけの力でやるのはなかなか難しい事かと思えます。流域の皆さんと協力し、知恵を出し合っていくことが必要だと思えます。私もそのために第一線で働く皆様と一緒に頑張っていきたいと思っておりますので、一緒に頑張りましょう。



## 事故「0」を目指して安全パトロールを実施

9月25日（水）三春ダム管理所事故防止対策協議会今年度第一回目の、安全パトロールが行われました。当日は、管理所側と請負業者が現在工事施工中の三春ダム周辺維持工事と、大滝根川河道整備工事の順で現場事務所と工事現場を点検しました。その後、管理所で検討会が行われました。その中で参加者から現場点検の結果について、良い点、改善すべき点についてそれぞれ活発な意見が出されました。

当協議会では、事故「0」が継続されるように今後も現場の点検、パトロールを実施する予定です。



パトロールは、三春ダム管理所管内で行う工事施工に伴う事故を未然に防止するとともに、工事等の円滑な進捗を図る事を目的に行われています。

## 転入者、新規採用者

### 『小型船舶免許』取得

ダム管理所職員としては必携の「小型船舶4級操縦士免許」取得のため、宮城県塩釜にある某海技専門学院へ行って来ました。

紙面の都合上、合宿コース参加中のエピソードを箇条書きでご紹介したいと思います。

- ①団体行動が不得手な不肖執筆者は、不特定多数の人間が参加した缶詰状態の合宿によるストレスから、顔が腫れる事態に陥りました。（普段から腫れてるって、うるさい！）
- ②N技官におかれましては、2日目の学科講習終了の後、コンクリート上で見事なヘッドスライディングをご披露遊ばされ、怪我と一緒に携帯電話を大破されました。（携帯電話の方が、怪我より痛かったみたいです）
- ③他参加者が、毎夜繰り広げるドンチャン騒ぎで、4名とも寝不足気味でした。最後に、合宿に参加した4名全員優秀な(?)成績で修了試験合格、免許取得となりました。

## 地域のイベントで三春ダムをPR

田村郡7町村商工会女性部主催の、環境保全とリサイクルを考える「未来へつなごうふるさとの川 inフェスティバル」が、9月29日（日）三春町役場駐車場で開催されました。



三春ダム管理所では、もう一つの会場である三春町公民館ロビーにおいて、水質保全についてのパネルを出展しました。

会場では、大勢とはいえませんがお客様が来場し、熱心にパネルを見る姿も見られました。（上写真）

大好評の  
リサイクル  
マーケット



←国際交流館

「ライスレイクの家」  
では『かぼちゃ祭り』  
を開催！

## もし大規模地震が起きたら？！

8月30日（月）に、平成14年度三春ダム総合防災訓練が行われました。

この訓練は、「防災週間」における行事の一環として実施され、大規模災害に迅速に対応出来るよう情報伝達訓練を行い、「防災意識の高揚」「防災知識の普及」「防災体制の整備」等を推進し、公共の安全に資することを目的としています。

実際の訓練は、震度6弱の地震が福島県中通り地方に起こったと想定して行われました。安全確保訓練に始まり、様々な情報伝達訓練が支部長（伊藤管理所長）の指揮のもと行われ、災害に対する心構えも新たになりました。

# 『生活』～大滝根川流域の名水～

講師 「たむら名水玉手箱」ワーキンググループ 降矢 由美子 氏

第11回大滝根川流域勉強会が9月13日（金）さくら湖自然観察ステーションで行われました。今回は田村郡内に存在する名水・清水等をまとめた冊子「たむら名水玉手箱」の編集に協働したワーキンググループの一人でもあります。降矢由美子氏を講師に迎え「大滝根川の名水」をテーマに基調講演をしていただきました。

「田村名水玉手箱」は、田村地方に点在する名水と言われた清水などの、現在の姿や言い伝えを調査することで、水環境の保全・啓発の活性化を図りふるさとの水の大切さや、水と私達の生活のかかわりを次世代に伝えることを目的として作成されたものです。

発行は、建設業協会青年部田村支部が中心となり、田村郡内7町村の職員、三春土木事務所、郷土アドバイザー、そして女性のワーキンググループからなる探検隊を組織し、福島県地域づくりサポート事業の支援を受けて進められました。

各地の名水・清水などを調査していくと、それらが



「地域の人達で守り、語り継いでいく事も大切ですね。」

街道沿いに点在し古来より地域の人々や旅人ののどを潤し、安らぎを与える重要な役割を果たしていたことが分かります。さらに、地域の暮らしと文化に大きく関与していることも分かりました。

しかし現在、それらは時代と共に忘れかけ「水の文化」から生まれる感謝やふれ合い、そして「ふるさとの水」を思う心までもが薄れつつあるように感じます。次世代を担う子供達や田村地方に暮らす方々に、水の大切さ、水とのかかわりを広く知ってもらいたいと願っています。

大滝根川流域の名水・清水は、さくら湖の水源でもあります。今回の冊子発行がふるさとの清水を見つめ直すきっかけとなり、将来にわたって水環境が管理・保存され人と人とのふれあいの場として、また癒しの空間として次世代に受け継がれそれが地域の活性化へと発展していくことを望みたいと思います。

次回の勉強会は、**11月22日（金）** テーマは「**大滝根川上流の地質について**」です。

**自然環境について語ろう！**

どなたでも自由に参加できますので、興味のある方はぜひご参加下さい。

## さくら湖自然環境フォーラム2002開催

10月25日（金）～26日（土）に「さくら湖自然環境フォーラム2002」がさくら湖自然観察ステーションで開催されます。

三春ダム（さくら湖）は平成10年3月に完成し、地域に開かれたダムとして環境学習にも広く利用されています。そして、さくら湖の自然環境保全の方向性を見出す目的で平成12年からこの「さくら湖自然環境フォーラム」を開催してまいりました。

第3回目の今回は「さくら湖流域の環境型社会を目指して」をテーマに皆様から広くご意見を賜り、さくら湖周辺の自然環境保全と地域の活性化を図る目的で開催致します。

今回は、地元の小・中学生の「植物と水生生物」に関する研究発表や環境問題についてのパネルディスカッションの他、世界水フォーラム事務局長の尾田 栄章氏の基調講演等が予定されています。

三春ダム管理所からは、佐々木水質係長が「三春ダム水質の現状と水質管理計画について」、高橋管理係長が「三春ダム土砂供給における下流域の良好な河川環境について」の研究発表を行う予定です。

## 9月のダム見学者

- 9月 3日(火) 茨城県吉田用水尾崎土地改良区維持管理組合 17名
- 9月 4日(水) 福島県県中農林事務所 20名
- 9月12日(木) 郡山市立三町目小学校 17名
- 9月13日(金) 郡山市立熱海小学校 48名→
- 9月18日(水) 郡山市宮城小学校 16名
- 9月20日(金) 船引町立船引南中学校 4名
- 9月26日(木) 茨城県中央広域水道建設促進協議会  
茨城県県北水資源開発促進協議会 20名
- 9月27日(金) NPO「グループみずほ」 18名



## ダム資料館からのお知らせ

1階の展示コーナーでは、三春ダム流域紹介「三春町展」を開催中。  
地元三春町の見どころや歴史をパネルで紹介する他、イベントのお知らせをします。



秋の新メニュー「手作りおからドーナツ」と「抹茶ソフト」→

近々、あつあつのアップルパイも登場する予定



ふくしまFM(福島・郡山 81.8MHz)  
「ふれあいふくしま  
サウンド・フリーウェイ」に出陣し  
三春ダム&資料館をPR (写真左)

放送は、10月4日(金)、18日(金)午後5時~です。

## 自然観察行-ツ-ンからのお知らせ

- 10月13日(日) 秋の野鳥観察会  
“秋の里山で見られる野鳥の観察を行います”
  - 10月20日(日) 桜川の水質を調べよう  
“桜川の水質を調査し、8月の調査時のデータと比較してみましょう”
  - 10月11日(金)、19日(土)、25日(金)  
秋の天体を見よう(星を見る会) “秋の星雲・星団の観察をします”
- お問い合わせは (0247-61-1546) まで。

紅葉の季節になりますね。美しい秋のさくら湖へぜひお越し下さい。

## 編集後記

さくら湖管理ニュースの編集に携わってから、早くも半年が過ぎました。この間、定期刊行物の締め切りに追われるという状況を初めて経験し、さらには広報する事の難しさを実感しているところです。たとえば読者の方々になるべくわかりやすい情報の提供を心がけているつもりですが、専門的な用語を使いすぎると一般的な読者にはわかりにくい表現となったり、かといってあまりにくだけた表現をすると、説明したい内容からかけ離れてしまうことになる事などがあり、日々頭を痛めております。わかりやすい誌面に関するご意見をぜひお寄せ下さい。(佐々木)



## 地域に開かれたダム(前編)



## 編集・発行

国土交通省  
東北地方整備局  
三春ダム管理所

皆様のご意見や情報の提供を

お待ちしております。

〒963-7722 福島県田村郡三春町大字

西方字中ノ内403-4

TEL 0247-62-3145

FAX 0247-62-3170

ホームページアドレス

<http://www.thr.mlit.go.jp/miharu>